



今月の食育講話 食事に関わる人に感謝して食べよう！！

「食べ物を粗末にはしてはいけない」「残さずにきちんと食べなさい」なんて、言われたことはありませんか？ただ漠然と「そうだな。」と思ってはいても、なぜそんなことを言われるのか、ちゃんとその背景を考えたことがある人は少ないのではないのでしょうか。

普段当たり前のようにご飯を食べて生活している私たちですが、その“食”の裏には様々な人の努力や気持ちが込められています。一緒に勉強していきましょう！



9 産地を
応援しよう



えっ、その「仕事」も食に関わっているの？

農業や漁業、調理はもちろんですが、それ以外にも食に関わる仕事がたくさんあります。それらにはどのようなものがあるのでしょうか。例えば、食卓が整うまでに以下のような多くの職業が関わっています。

社会にある多くの職業は、食と関係があります。農業やスーパー、調理、運搬など食と直接関わっているものから新聞記者や包装、印刷など、よく調べてみないと食との関わりが分からないものまでたくさんあるのです。

漁業・・・魚や海産物をとる人
農業・・・野菜や果物、米、小麦などをつくる人
畜産業・・・鶏、豚、牛などを育てる人
加工・包装業・・・食べ物の加工・パッケージを作る人
消毒用品販売業・・・食中毒などが発生しない様、洗剤などを売る人



食べることは、命をいただくこと。

私たちが毎日生きていくために「食べること」は欠かせません。毎日食べている食べ物は、多くの動物や植物の命をいただくことで成り立っています。「いただきます」というあいさつには、食べ物の命をいただくことや、生産者の人たちや食事を作ってくれた人などに対する感謝の気持ちも含まれています。

「いただきます」

「いただきます」は「もらう」「食べる」の丁寧な言い方です。漢字では、「頂く／戴く」と書き、頭の上に捧げ持つことを意味しました。これは、何か大切なものをもらったときに、「ありがとう」の気持ちを表す動作です。

また、食べ物はもともとはすべて生き物です。牛や豚、魚や鶏などの動物、米や野菜などの植物にはそれぞれ命があります。「いただきます」は、食事ができること、すべての命に対して「ありがとう」という言葉でもあります。

「ごちそうさま」

「馳走」は、「かけまわる」という意味があります。人をもてなすために汗を流して食べ物を集め、かけまわるようにして食事の準備をしてくださった人たちの苦労をねぎらい、感謝する気持ちが込められています

次回の「お弁当の日」は、5月19日(木) です。

入港日は、18日(水)です。